

「京都丹波 まな Viva!」は、学校と先生を応援する南丹教育局の学びのニュースです。

### 「なんたん学びモデル推進校」

「京都丹波の教育推進プラン」に基づき、質の高い授業づくりに向けた授業改善の推進に取り組むことを目的に、管内3小学校と4中学校を「なんたん学びモデル推進校」として指定しています。各推進校では、自校の現状を分析した上で、「学力向上」に係る課題解決に向けた研究テーマを掲げ、児童生徒の確かな学び、教員の指導力向上に取り組んでいます。

#### 【1年次推進校の研究テーマ紹介】

①研究主題 ②研究内容 ③主な取組

#### 亀岡市立南つづじヶ丘小学校

- ①積極的に自分の意見を持ち、伝え合える児童の育成  
～人間関係を築き、よりよい学級・学校づくりを目指す特別活動～
- ②話し合い活動の中で、自分の意見を持ち、伝え合っているか。
- ③授業研究、学級・学校分析、研修会、交流シートやアンケートの活用 等

#### 南丹市立園部中学校

- ①心が動く授業の追究と生徒の思考力・表現力の育成～学習サイクルを活用して～
- ②発表者の発信する力（プレゼンテーション能力）を身に付けさせるための発表方法（声の大きさ・立ち位置等）の指導方法を確立し、具体的なノウハウ・「型」を提示できるよう明確な基準の作成  
○自ら学習しようとする態度が伸長できるよう、生徒を「本気」にさせることができる課題を設定
- ③年間を通して教科部会、授業研究、指導基準の共有、家庭学習を習慣化 等

#### 南丹市立殿田中学校

- ①主体的、対話的で深い学びを実現する授業作りの推進  
～ねらいにせまるICTの利活用と言語活動の充実～
- ②ICTを効果的に活用し、思考力・表現力の向上をめざした授業・教育活動の構築  
○言語活動の充実をめざした授業・教育活動の構築  
○上記を推進する教員の資質・能力の向上
- ③公開授業、教職員研修、ICTの効果的な活用、授業内容と家庭学習のつながりの明確化 等

#### 【2年次推進校の研究テーマ紹介】

#### 亀岡市立大成中学校

- ①主体的に学ぶ生徒の育成と確かな学力を育む学習指導の在り方
- ②主体的な学びと確かな学力を育む効果的な指導方法の構築
- ③ICT端末を利用した個別最適な学習方法の検証、研究授業、授業評価アンケート 等

#### 南丹市立殿田小学校

- ①自ら学び、表現する児童を育む授業づくり ～対話的な学びを通して～
- ②対話的で深い学びのある授業の在り方  
○言語活動を通して、表現力を高めていくための授業研究  
○学習理解や言語活動における効果的なタブレット活用の検証
- ③校内公開授業、教職員研修、児童アンケート、タブレットの利活用 等

#### 京丹波町立瑞穂小学校

- ①自分の思いや考えを表現し、主体的・対話的に学び合う児童の育成  
○小学校における教科担任制を通して、互いに学び合い、高め合う校内組織体制の確立
- ②国語科の研究を中心とした言語活動の充実を図る指導  
○専科指導および交換授業による児童の学力向上及び教員の指導力向上
- ③授業研究会、授業交換、複数での教材研究、教科担任制の導入、学力テスト分析 等

#### 京丹波町立蒲生野中学校

- ①「学びをはぐくむ京丹波町メソッド」の理念に基づいた授業改善の実践と、主体的に学びへ向かう生徒の育成
- ②生徒を学びの主体者とするための授業改善  
○基礎基本の習得と定着を目的とする個に応じた学習支援  
○ユニバーサルデザインの視点からの「学びを育む環境」づくり
- ③授業参観、Q-U、生徒アンケート、学力テスト、全校学習ルーム、自己管理手帳 等



5つの提言 「質の高い授業づくり」 10のチェックポイント	
提言1 主体的な学びを促す 単元構成	① 児童生徒のゴールの達成を明確にし、目標を設定するための単元構成の工夫ができたか。
提言2 学習意欲を高める授業	② 教材（題材）や指導内容の系統性から何をどのように学ばせるかの明確になっているか。 ③ 学習意欲を高める導入や「めあて」の提示ができたか。
提言3 児童生徒が主体者となる授業（めがねづくり）	④ 児童生徒が主体的に学ぶ課題解決的な課題を設定したか。
提言4 自己の学びを深められる授業	⑤ 「対話的な学び」や「めあてを達成した振り返る活動」を通して、自分の深い学びや学習内容の定着につなげられたか。
提言5 目的意識のある家庭学習	⑥ 家庭で学びたい工夫を授業に組み込んだか。 ⑦ 家庭での学習を適切に評価し、次の学びにつながる振り返りができたか。



☆単元・授業づくりの大事なポイントをまとめたものです。各校の授業研究の際に、参考にしてください。（南丹教育局のHPにも載せています。）